

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
	志賀原子力発電所に係る広報・調査等事業	羽咋市	1,510,000	1,510,000	総事業費 1,647,826

II. 事業評価個表

番号	交付金事業の名称			
	志賀原子力発電所に係る広報・調査等事業			
	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	羽咋市		
	交付金事業実施場所	羽咋市一円		
	交付金事業の概要	<p>志賀原子力発電所をはじめとする原子力関連施設等の安全対策や地域における様々な活動について、地域住民に正しい情報の提供を行うため、広報誌「あともす」の発行及び原子力関連施設の見学会等を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査事業：県外の原子力関連施設等において職員研修を実施。 ・広報事業：広報誌の作成及び配布委託 住民の代表である町会長連合会役員を対象に原子力関連施設の見学会を開催 		
	総事業費	1,647,826	交付金充当額	1,510,000
うち文部科学省分				
うち経済産業省分			1,510,000	

<p>交付金事業の成果目標</p>	<p>羽咋市では、地域住民に対し、原子力発電や放射線に対する理解を深めてもらうため、本交付金事業において、広報誌を発行し全戸配布するとともに、原子力関連施設の見学会等を実施することとし、地域住民へ原子力に関する正しい知識や情報の提供を行うことにより、発電用施設の設置及び運転の円滑化を促進します。</p>
<p>交付金事業の成果指標</p>	<p>本交付金事業においては、住民の原子力発電や放射線についての理解を深めるため、広報誌の発行及び全戸配布（6回）、原子力関連施設の見学会（1回）を実施します。</p>
<p>交付金事業の成果及び評価</p>	<p>広報誌発行事業では、年6回広報誌を発行、市内の全戸に配布し、寄せられた意見では「放射線についての理解できた」等との意見が見られ、原子力に対する住民の理解促進に繋がっているところです。</p> <p>また、原子力関連施設の見学会では、11月8日から9日に町会長連合会役員を対象に実施し、14名の参加がありました。参加者の感想では、「原子力発電の重要性を理解した」との意見が多数ありました。</p> <p>今後も引き続き地域住民への原子力発電や放射線に対する知識の普及啓発に努めていきます。</p>

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
新聞購読	随意契約	北國新聞南部販売(株)	170,676
新聞購読	随意契約	(有)北中販売はせべ	47,772
新聞購読	随意契約	(有)読売新聞羽咋中央	37,116
視察研修旅費	—	研修参加者(羽咋市職員)	31,600
視察参加旅費	—	視察参加者(羽咋市町会長連合会)	201,600
貸切バス運行	随意契約	東武トップツアーズ(株)	272,600
原子力広報作成委託	随意契約	(公財)能登原子力センター	297,000
原子力広報配布委託	随意契約	羽咋市町会長連合会	520,000
事務用品購入	随意契約	オフィス空間ミヤカワ	9,462
郵便料	随意契約	日本郵便(株)	30,000
電話料	随意契約	西日本電信電話(株)	30,000

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無

無